

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、さぎの宮圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和3年11月25日（木）9時30分から11時40分まで
参加者	委員：10人 事務局：1人 その他：8人（高齢者福祉課：2人、東区長寿保険課：2人、包括支援センターさぎの宮：2人、浜松市社協：2人）
場所	東区役所 31・32 会議室
内容	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 前回の振り返り 事務局から前回の会議録に基づき報告。</p> <p>3 （おてつだい長上より現在の活動状況の報告） <ul style="list-style-type: none"> ・スタートから7カ月経過、順調に進んでおり、他地域からの問い合わせもあった。 ・1か月平均60件ほど、依頼内容にバラつきがあり、今は依頼できる人が利用しているが、声が出せない人がどのくらいいるか気になる所。 ・内容は、ゴミ捨て、草刈り、木の伐採が8割。支援員は70名程いる。 </p> <p>4 グループワーク 家事支援をテーマに地区ごとに今後の進め方等について協議 [意見等]</p> <p>[笠井地区] <ul style="list-style-type: none"> ・地域の助け合い活動を立ち上げるにあたっての基礎データ、情報を入手する一つの手立てとして、現在、民生委員がアンケートを行っている。 ・年齢が若くても困っている人がいる。 ・本音を言えない人や地域に溶け込めない人がおり、困っているという事を見つけられないことがある。 </p> <p>[長上地区] <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員と家事支援とで役割を分け、連携を取っていきたい。家事支援で訪問して心配と思ったら担当民生委員にフィードバックしてもらいたい。また、民生委員はサロン等にも出向き住民の様子を見て、支援が必要な人へつなげられるように働きかける。 ・家事支援を立ち上げるにあたり自治会へ訪問して、いろんな話を聞いてやってきた。1年間の活動を自治会に報告しながら、リーダーになってくれる人を見つけられるように呼びかけたい。 </p> <p>4 各地区からの報告 地区ごとに話し合った内容について委員から報告。</p> <p>[長上地区] <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員が長上地区社協の活動を把握できていない部分もある。おてつだい長上の活動と民生委員の活動をお互いに情報交換をすることが必要。 ・ゴミ出しは安否確認になる。目に見えた仕事をこなすだけでなく、それを通して </p>

	<p>地域の見守りや繋がり大切さを感じてくれた。支援リーダー自らがそれに気付いたことは私たちの地区社協の喜びだった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の課題としては、リーダーの悩みを聞く機会を持つことが必要だと感じている。 <p>[笠井地区]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠井地区は家事支援について考えていこうとなった。 ・家事支援の会の名称を「だるま会」と決めた。10月は移動支援・家事支援についてどうしようということで、市議に10月・11月は出席してもらい、現状や他地区の取り組みを学んだ。同時進行で10月から地区のニーズはどうなっているか調査する。以前、年齢関係なく調査したが、今回は75歳以上のどのようなニーズを持っているか、基礎データ集めを民生委員活動と一緒にやる。 ・対象者・中身を今後考えていく。民生委員が持っている情報を活用し、福祉に漏れがないようにしていきたい。 <p>5 その他</p> <p>6 副会長挨拶</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>第3回協議体会議は令和4年2月24日（木）9時30分～東区役所3階31・32会議室にて開催する。</p>